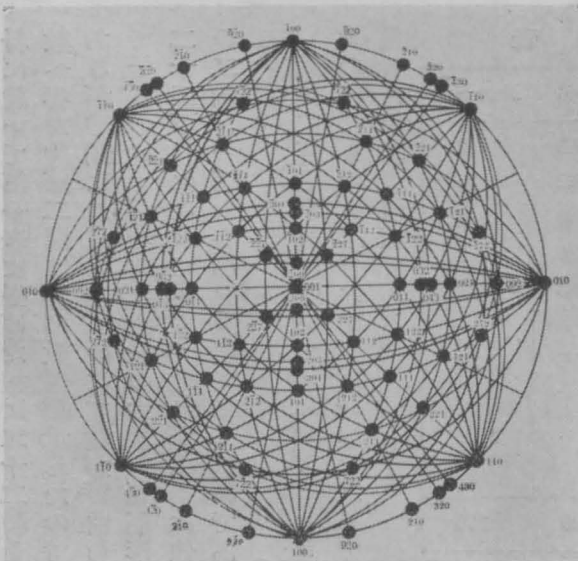


朝鮮黃海道黃州郡天柱面の 黃鐵鑛後の褐鐵鑛

鵜川平八郎

黃海道黃州郡天柱面及其の附近のオルドキス紀の石灰岩中には黃鐵鑛より變つた褐鐵鑛の鑛床が點々として散らばつて居る。此の鑛床に褐鐵鑛の假像が産する事は既に朝鮮鑛物誌に記載された處であるが、最近中村先生及豫て同地方の地質の研究に従事して居られた學生竹原平一氏は内橋里黃州鐵山で此の結晶を多數採集された。此の結晶は内部迄完全に褐鐵鑛に變化して居り、 $a(100)$ 及 $c(210)$ を主面として之に狭き $d(110)$, $D(920)$, $h(320)$, $g(430)$, $o(111)$, $p(221)$, $n(211)$, 及 $m(722)$ 等の面を伴ふもので此等の諸面は第一圖の綜合ステレオ投影圖に示してある。此處に興味ある事は、其のコムビネーションが實に多様な事で、三百七十箇の試

第一圖



五六

Cube	Octahedron	Dodecahedron	Pyritohedron				Trisoctahedron	Trapezohedron		Figure
a(100)	o(111)	d(110)	g(430)	h(320)	e(210)	D(920)	p(221)	n(211)	m(722)	
x										a
x										b
x	x									c
x	x	x			x					d
x	x	x			x					e
x	x	x						x		f
x	x	x		x	x			x	x	g
					x					h
x	x				x					i
x	x	x			x				x	j
x	x				x				x	k
x	x				x					l
x	x				x			x		m
x	x	x	x		x		x	x		n
x	x				x					
x	x			x	x			x		
x	x				x			x		
x	x	x			x	x		x		
x	x		x		x			x	x	
x	x	x	x	x	x			x	x	

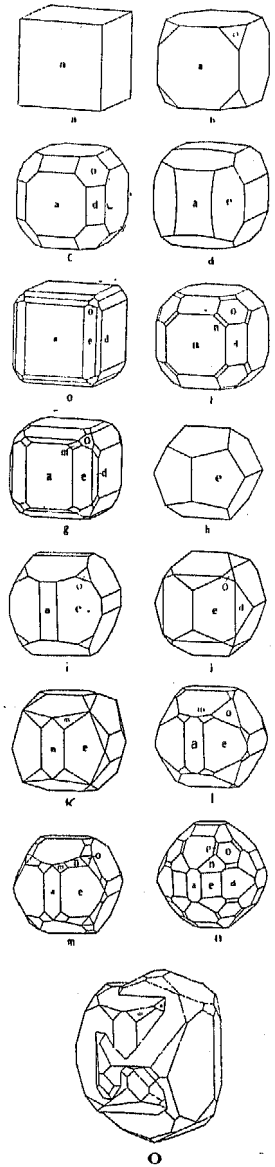
第 二 表

Combination	%	Number
a のみ	0.5	2
e のみ	5.2	19
a+e	67.0	248
a+o	0.5	2
a+o+d	0.3	1
a及e面或はその いづれか一方を 主面とし此れに m,n,o,d,p,D,g,h 等を伴ふもの	26.5	98
	100	370

料に就いて第一表に掲げた様に二十二種を數へ得た。第二圖は其の數例を示したのであるが、(d)に於てaとeのなす稜が彎曲して居るのはaが非常に指數の大きい偏菱形の二軸との切り合ひを減じて行く爲めである。

試料三百七十箇に就いてコムビネーションの同じものを選分けて、百分率を求めて見ると第二表の様である。

第二圖



雙晶はeを主面とした結晶に最も普通に見られ、oを雙晶面とした透入雙晶である。(第二圖o)

終りに御校閲を賜つた松原先生、標本を貸與

され且種々御教示に與つた中村先生及び竹原平一氏に深く感謝の意を表する。

(昭和九年三月廿三日)

備後の名勝下帝釋峽

吉野益見

目次

概説 一、地形 二、地質

備後の名勝下帝釋峽

各説

一、永新の曲峽【イ、前半の景
ロ、後半の景

壺

五七